

平成 18 年度 第 9 回 規制改革・民間開放推進会議

会議終了後記者会見録

日時 : 平成 18 年 12 月 6 日 (水) 11:00 ~ 11:15

場所 : 永田町合同庁舎第 2 会議室

司会 それでは、第 9 回「規制改革・民間開放推進会議」の記者会見を始めさせていただきます。初めに草刈議長お願いいたします。

草刈議長 今日は 9 時半から、佐田大臣、林副大臣、岡下政務官に出席いただいて、第 9 回目の規制改革・民間開放推進会議を開催いたしました。会議の様様について御報告をします。

今日は、最終答申の案文について審議を行いました。最初に各ワーキンググループの主査から、答申の案文内容と各省との協議の状況について説明がありまして、その後、意見交換を行ったところです。

最終答申は、前回の会議で審議を行った骨子に基づいて 3 章立てということで、第 1 章で、これまでの会議の活動の総括、そして、今後の規制改革の方向性というものを書き込む。

第 2 章では、今後の規制改革の推進に向けた課題、取り分けいろいろチャレンジした、あるいはトライをしたけれども、かつ、極めて重要な課題であったけれども、まだできていないということの申し送りといったこと。

第 3 章で、各分野における具体的な規制改革。これはいつものものです。成果も含めて、それを記述するというようにしております。

今日の資料である最終答申案と、会議の議事録につきましては、政府部内での検討・協議が、今まさに山場になっておりますので、答申決定後に公表させていただくということで、今回の資料としては御容赦をいただきたいということで御理解をお願いしたいと思います。

これから、実質 10 日あるかないかですが、各省との協議を行って、案文を詰めて、今月下旬の推進会議を開催して、最終答申のとりまとめという段取りを考えております。

今日の審議の概要は、以上のとおりでございます。

司会 それでは、御質問はございませんでしょうか。

記者 議事録については公表できないということですが、今日の議論でどういうところが主に議論になったか、御紹介できる範囲でいいんですけども、あるいは素案の中でどういうところは一致したというか、意見が一致していなかったとか、その辺の御紹介をいただければと思います。

草刈議長 具体的にいろいろ申し上げますと、差し障りがあるかと思いますが、私の見ている限り、相当程度、大体 6 ~ 7 割ぐらいのところ合意に達したという感じです。

ただ、ペンディングのまま、かなり攻防しているところがあるところが 2 割ぐらいかな。それ

で、意見の懸隔がまだ非常に大きいというところは2割ぐらいとか、そんな感じですけども、鈴木議長代理、今の話で何かコメントはございますか。

鈴木議長代理、何せ項目は各分野にわたっていますから、何がというふうに聞かれるといつも困ってしまうのですが。私が関係しております分野では胸突き八丁は越えたというふうに申し上げてよいのではないかと考えておるわけですが、まだ完全にまとまっておるわけではないということです。ポイントは、横断的な制度から資格制度、官業の民間開放、国・地方の関係、それから、IT・エネルギー・運輸、医療とわたっていますから、それぞれが一体、医療とITとは何点付けるのかというのは難しい問題ですから、しかも、それぞれの分野において、細目としては数個ないし10個という、異なった事柄を取り上げておりますから、何がと言われるとすべてだというふうに御返事するしかないというのが実情です。

記者 意見が分かれている2割の中で、具体的に、もし御紹介できる部分が2～3点あればと思います。

草刈議長 そこは御紹介できないというのが申し訳ないです。

もう一つ、リマークすると、教育問題というのを、昨日、公開討論をやったばかりなんです。あそこが一番、私どもにとっては大事な問題で、取り分け、学校選択の制度というのはある程度前進しているということではあるんですけども、昨日申し上げたような、全然現場に浸透していない。それでは、何をやっているんだかわからないではないかという問題が1つあるんです。

一方、教員評価の問題というのは、何かもによもによ言いながらちっとも進んでいないというので、これはやはりもう一步、具体的な方法論も含めて進めたいと思っているんですが、これは昨日の今日ですから、さっき10日間と申し上げましたが、教育については大半がこれからデスマッチという感じになると思います。

それから、外国人労働の問題も、かなり、さっき胸突き八丁と鈴木さんがおっしゃいましたが、そういうところに来ている。申し上げられるとすれば、その程度です。

司会 ほかは御質問ございませんでしょうか。

記者 2点伺います。

今日の会議の中では、昨日の教育のヒアリングを受けての何か御報告みたいなものがあったのかどうか。

草刈議長 いたしました。先ほど申し上げたように、ほかのアイテムは皆さんかなり精力的にヒアリングをやって、ひざ詰め談判をやって、かなり目途が見えたところもあるんですけども、教育問題については、研究費の配分の問題はある程度進んでいるんですけども、教育そのものについては今から案文折衝ということになるわけですが、その問題と、いわゆる緊急課題として出てきたいじめの問題で、必須科目をやっていない問題については我々が今取り組んでいる問題とは違うので、どうしてもいじめの問題というのがその中で緊急課題として出てくるということなので、昨日、ごらんになっていただいたかと

と思いますが、いわゆる2アイテムの、緊急対応についての申し入れというものが2件。それと、緊急いじめ調査というのを早くやるべきではないかというようなこと。この3つを新しいテーマとして昨日出しました。

それで、1週間以内にどういうふうにするのか答えてくれということも言いましたという報告は当然しなければいけないので、それはしましたけれども、残念ながら案文折衝のところはまだ全然固まってもいないし、これからどういうふうに展開できるのかは、まだ私も全然自信もありませんし、今からの仕事ということです。

記者 もう一点、答申の中身とは違うのかもかもしれませんけれども、現行組織としては来年の3月に設置期限が迫っているということですが、今日は特に今後の議論の体制みたいなところの話は出ませんでしたか。

草刈議長 それは、さっき申し上げましたけれども、第1章というところに、いわゆる今後のこの会議の在り方というのはこうあるべきである、あるいはあってほしいということについてはそこで述べるということにしております。それがいわゆる総論的な部分です。

それと、第2章というところでやるべきなのにまだやっていない。例えば医療問題で言うと、株式会社の問題というのは一見進んでいるように見えるけれども、特区の方で自由診療というようなことで制限付きのものなので、実際にはそんなに進んでいないという認識なので、その辺のところは第2章という個別のところでも申し送りの問題意識は書いておくということです。

記者 それでは、第1章部分として、一応、今日の審議でも議論の対象にはなったということでしょうか。

草刈議長 第1章というところの話は、どちらかというところあるべき論ですから、それは、今、案文をつくっているところで、委員の皆さんがアグリーしてくれればそれでいいと思います。

司会 ほかは御質問ございませんでしょうか。

記者 一部報道で、来年1月にも新しい組織に変わるというような報道もありますけれども、議長としてはどのように考えていらっしゃいますか。

草刈議長 私はそれは全然承知してなくて、新聞に報道されたとかというようなことも聞いていますけれども、その辺は今のところ、何も私には伝達もありません。

何か事務局の方でコメントがあればしていただきたいと思いますが、どうですか。何かありますか。あればしてください。

田中室長 現段階では、大臣及び任命権者である総理、その他、官邸の方から特段の指示はございません。

司会 ほかは御質問ございませんでしょうか。

記者 議長は明日の経済財政諮問会議に御出席だと思んですが、今日の会議等も踏まえて、どんなお話をされて、あるいはいろいろ胸突き八丁の問題も含めて、何か御提案・御提言される御予定はありますか。

草刈議長 明日は、時間的にも非常に限られているので、この問題についてこういうふうなことで、今、かんかんがくがくやっておりますとか、あるいはいじめ問題についてどうのこうのというような細かい議論はできないと思います。

やはり、現状の報告と、これまでの3年間の総括みたいなことで、これは私に報告義務があると思っているので、その辺を中心に話をするのかなと思っています。そういう御報告をして、サポートをお願いしますとかということだと思っています。

司会 ほかは御質問ございませんでしょうか。

記者 今回の最終答申なんですけれども、議長としては安倍政権の中でどういう位置づけの答申にしたいと現段階で考えていらっしゃいますか。

草刈議長 位置づけといっても、要するに、この推進会議というのがいわゆる成長ということの一つの大きな原動力になるべきものですから、そういう位置づけの中でイノベーションとか、オープンな社会とかというような関連に当然なっていくわけです。やれるところまではやるわけですけれども、その成果が十分かどうかという問題は別だと思っています。

ただ、当然のことながら、いわゆる安倍政権の成長というものを支えていく原動力という意味でのベクトルは前と全然変わっていないと思っています。これは、別に小泉政権のときはそうではなかったということではなくて、これは全くアンチェンジだと私は思っています。

司会 ほかは御質問ございませんでしょうか。御質問はよろしいでしょうか。

それでは、これにて会見を終了いたします。ありがとうございました。